

## 令和4年入学式 学長式辞

2022.4.1

神田外語大学外国語学部、グローバル・リベラルアーツ学部、及び大学院言語科学研究科に入学した皆さん、誠におめでとうございます。ご家族や関係者の皆様に心よりお喜び申し上げます。

さて、世界で600万人以上が亡くなったと言われる新型コロナウイルス感染症は未だ収束が見えません。今日お集まりの新入生、保護者、教職員の皆さまの中には実際に感染し入院をした方や、未だに後遺症に悩む方がおられるでしょう。心よりお見舞い申し上げます。この感染症は地域性がある自然災害とは異なり誰もがかかる病気で世界の人々の動きを止め、人々の生活を大きくかえるパラダイムシフトとなりました。

また、2月に始まったウクライナへのロシア軍の攻撃も終わりません。プーチン大統領の主張は、ウクライナとロシアは元々同胞でありウクライナの分離は許せない。ロシアの安全保障を脅かす動きに対しては核兵器を用いても対処する。ウクライナが不法占拠している地域をロシア軍が武力をつかって解放し、虐待されているロシア系住民を救済するというものです。わたしはこのプーチン大統領の論理を断固として拒否し、抵抗するウクライナの人々と抗議するロシアを含む世界の人々に強い連帯を表明します。

ところで私は40年以上商社マンとしてビジネス界に身を置いてきました。貿易が活発になり、物と人が世界中を行き来し、お互いが強みを活かし尊重し合う、いわばグローバル化こそが地球の平和をもたらすと信じて仕事をしてきました。ところが、大きな戦争が起きてしまいました。

私は21世紀の戦争は目に見えにくい複雑な情報戦、サイバー攻撃などが主流になると想定し安全保障のあり方を考えてきましたが、20世紀型の戦争、すなわち戦車と銃による武力行使で多くの一般市民が犠牲となり都市が破壊されるという戦争を目の前に当惑し、それを止めることができないもどかしさを募らせています。

人間は元々エゴイスティックで「自分や自分の国家さえ無事ならば、それで良い」という「自分ファースト的動物」です。ところが新型コロナウイルスとウクライナ危機に直面し、環境問題、衛生問題や平和維持は地球全体の課題であ

り、我々は地球市民として「地球ファースト」で考え解決すべきとの思いを強くしました。

皆さんは地球市民として何ができるのでしょうか。何をすべきなのでしょう。私から皆さんへの助言は「自分の頭で考える」ことを習慣化することです。権威ある人たちが言っていること、SNSで広がっているニュースなどを鵜呑みにせず、自分自身で批判的に、論理的に考える CRITICAL THINKING 力を鍛えてください。

何よりも「無関心」は危険です。地球の未来のこと、社会のこと、東アジアのこと、国家のこと、自分のことを真剣に考えてください。また、知ったかぶりもいけません。

私は学長として自分がすべきことは、皆さんが物事に関心を持ち、そして深く考えることの大切さを説くことと考えています。一例を挙げると、ウクライナやアフガニスタンなどの紛争地域から逃れ難民となった人々に何ができるのか皆さんと一緒に考え、支援していくことです。

話は変わりますが、科学技術の進化は益々速くなり Artificial Intelligence (AI)、即ち人工知能が急速に発達する社会でみなさんは生きていくことになります。日常生活の中に AI が入ってきます。これから皆さんが学ぶ外国語についていえば自動翻訳機の性能は日々進化します。脳科学の成果を取り入れた学習方法が進化してもっと簡単に外国語を学べるようになり、もしくはテレパシーのように言葉を発しなくても意思疎通ができる時代がくるかもしれません。

そのような時代に、なぜ外国語を学ぶのでしょうか。私は母語以外の言葉を学ぶという行為そのものがますます大切になると思います。外国語を深く学ぶことにより、文化的背景や考え方を母語と比較して理解し思索の深さが増すのです。外国語の学習は、言語運用能力を身に着けるとともに深い思考力を身に着ける訓練でもあり、進化する AI に人間がコントロールされることなく人間が AI を活用し共存していくために必要とされる術になると考えています。

皆さんの大学生活や卒業後の社会は、入学前に描いていたイメージとは全く異なるかもしれません。世の中の変化は AI の進化、国際情勢の変動、自然災害、地球温暖化など想像以上に速く激しいと想像します。

この変化する環境に適応し生きていくためにも自分は何をすべきか、自分は何をしたいのかを問い、考え続け他者とのコミュニケーションを通じて「解」を探し続けましょう。

本学の建学の理念は「言葉は世界をつなぐ平和の礎」です。私はこの理念を、「対話を通じて他者と理解共感し、違いを乗り越えようとするもの」と解釈しました。私はこの言葉がストーンと腑におちビジネスマンから学長に転じました。今日から皆さんとこの言葉を共有します。皆さんはこの言葉をどのように考えますか。来週から福島県にある「ブリティッシュヒルズ」で始まるオリエンテーションキャンプで私と議論しましょう。

最後に建学の理念をご唱和ください。  
あとに続けてください。

「言葉は世界をつなぐ平和の礎」

CRITICAL THINKING 力を鍛え素敵な大学生活、大学院生活を送ってください。  
本日は誠におめでとうございます。

神田外語大学 学長 宮内 孝久